

広報誌



ね こ

令和8年3月号

発行責任者

社会福祉法人 東京援護協会

東京高次脳機能障害者支援ホーム

☎03-3925-0088

施設長 相良 宏司



令和7年度が終わり新年度を迎えようとしています。高次脳機能障害支援法が令和8年4月から施行されます。高次脳機能障害者を支援する関係機関の間では「より一層頑張っていきたい。」など囁かれ少しずつ前向きな変化を感じています。

ヒブディ東京は令和7年2月から新築での運営を開始しました。この1年の間に様々なことができました。一番大きな変化は建物が綺麗で違いやすくなったためか、利用希望が増え1年間ほぼ満床でした。また、特に多摩地域から病院関係者が沢山訪れ大規模な見学会を3回行いました。東京都においても『高次脳機能障害支援養成研修』が開始されましたが、その中で我々の施設のスタッフが教える側として関与することができ、新しいネットワークづくりにもつながりました。

次年度も支援法による変化に引っ張られ、また自分達からも積極的に地域での支援に変化を及ぼしていけるように努めていこうと考えています。



2025 HiBDyまつり



新施設にて「HiBDy まつり」を開催しました。昼食にはキッチンカーをお招きし、特別な食事を楽しみました。午後は外部の方による大道芸や、高校生のブラスバンド演奏、音楽会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。地域の皆さまにもご参加いただき、笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。

＼ねりまると「はいち～ず！」／



相良施設長よりご挨拶 



楽器隊の演奏



大道芸に拍手喝采 



初詣



新座観音へ



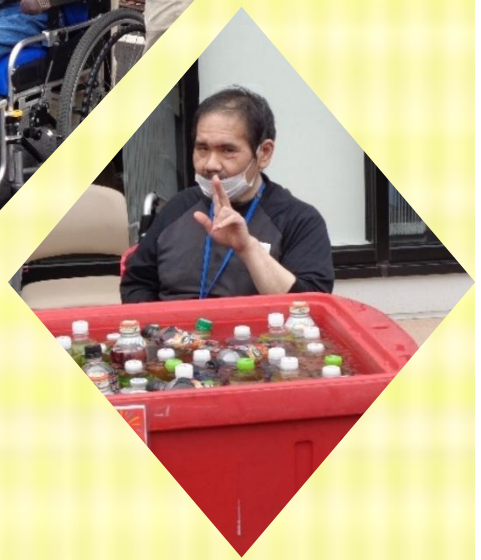
節分

「鬼は外！」



「福は内！」

みんなで豆まき！



HiBDy 忘年会



年末恒例の利用者忘年会を開催しました。

短い時間でしたが楽しいひと時を過ごしました。



卒業生インタビュー

昨年、自立訓練をご利用され、今はグループホームで生活されている A さんにインタビューをしました。



ーHiBDyでの訓練や生活はいかがでしたか。

楽しかったです。自分と同じような立場のような人が多くて、話し相手がいて楽しかったです。今もLINEでつながっていて、時々連絡を取り合っています。

ー今はどのような生活を送っていらっしゃいますか。

今は、リモートで仕事をしています。週5回、4時間、パソコンでの作業です。夕方はリハビリで歩く訓練をしています。Youtubeを見て自主トレもしています。

ーお仕事は慣れましたか

やっていることは前（病前）と変わらないので、大丈夫です。たぶん、会社ができることを割り振ってくれていると思います。パソコンでできることを配慮してくれているのかもしれない。

ー今HiBDyにいらっしゃる利用者さん、これから利用される方に一言お願いします。

自分で目標をしっかりと考えてリハビリをした方がいいと思います。病院のリハビリは受け身でやっていたような気がしますが、HiBDyのリハビリは能動的に取り組むところだと思います。がんばってください。

生 活 支 援 係

新 任 職 員 紹 介



林 嘉恵 生活支援員

ボランティアに何った事がきっかけで入職させていただきました。
障害者福祉の仕事をしたいという希望が叶い嬉しいです。料理を作ること食べる事が好きです。
よろしくお願いします。

11月より生活支援員として入職いたしました。以前は、知的障がいのある方の寮で生活支援に携わっておりました。現在は、高次脳機能障がいのある方への支援について学びながら、利用者様おひとりおひとりに寄り添った関りを大切に、安心して過ごしていただけるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



山崎 侑果 生活支援員